



▲セレモニー後、パレードで沿道に詰めかけた人たちに笑顔で手を振るヘンリー王子とメーガンさん AFP=時事

世界中から祝福を受けた2人

《ウエディングドレス》
イギリス王室ヘンリー王子と、アメリカ人女優のメーガン・マークルさんの結婚式が、5月19日（現地時間）、ロンドン郊外のウィンザー城内セント・ジョージ礼拝堂で執り行われた。
チャールズ皇太子と、カミラ夫人の結婚式が開催されたのと同じ場所。新婦・

メーガンさんが会場に到着するや、全世界の視線はウエディングドレスに注がれた。メーガンさんが選んだ1着は、フランスのファッションブランド「ジバンシイ」の英国人デザイナー、クレア・ワイト・ケラー氏によるもの。肌の露出は控えめで、トレーンの長さも短い、“意外”とも言えるシ

ンプルな1着だった。
2011年、兄・ウィリアム王子と結婚したキャサリン妃のドレスは、アレキサンダー・マックイーンのドレス。長袖という共通点はあるながらも、キャサリン妃のものはレースがあしらわれていた。故・ダイアナ妃のドレスはパールが特徴的な1着。それを考えれば、

メーガンさんのドレスは、これまでとは対照的な1着だったことがよく分かる。
「女優として活躍してきたメーガンさんは、ファッションにも注目されてきました。体型にフィットする“セクシー”な洋服を着用することも多かったので、ウエディングドレスのシンプルさには意外性も感じまし

5月19日、イギリス王室のヘンリー王子とメーガン・マークルさんの結婚式が、ウィンザー城内のセント・ジョージ礼拝堂で開催された。ドレスやセレモニーでの演出など、これまでのロイヤルウエディングとは異なる面も見られ、ニュースでも数多く報じられた。伝統を継承しながらも、今の時代を反映した結婚式は、日本にどのような影響力を与えるのか検証した。

2面に続く

「今回のロイヤルウエディングは、まさにSNS時代の結婚式を象徴したものだと感じました。」
「イギリス王室は、公式のインスタグラムアカウント (@kensingtonroyal) を運用。そのフォロワー数は6月上旬現在、611万人に達しています。王室自ら結婚式の様子を随時アップしており、キャサリン妃やエリザベス女王も写る家族写真には、200万近い『いいね!』がついています。結婚式の様子は動画共有サイトでリアルタイムに配信され、日本からも簡単にチェックすることが出来ました。英王室の発信力はやはり大きかったですですね。」
「記憶に新しいロイヤルウエディングと言えば、2011年の兄・ウィリアム王子とキャサリン妃の結婚式。7年前もSNSは浸透していましたが、世界各国でインスタグラムの台頭もあり、さらに発信が身近になったと言えるでしょう。パレードの際、沿道からはスマホ片手に2人を祝福する人たちが多かったのも印象的。今の時代だからこそ、幸せを発信・共有するロイヤルウエディングだったと感じます。」

ハースト婦人画報社
25ansウエディング編集長
榊田由紀氏

SNS時代の結婚式
王室のインスタ登場